

欧州特許庁、欧州発明者賞2019の受賞者を発表

2019年6月20日
JETRO ティェットル事務所

欧州特許庁（EPO）は、2019年6月20日、ウィーンで開催された授賞式にて、オーストリア、フランス、日本、オランダ及びスペインの優れた発明者に欧州発明者賞 2019（European Inventor Award 2019）を授与した旨、ニュースリリースにて公表した。授賞式には、知的財産、政治、ビジネス、科学及び学界の分野からの約 600 名の招待者が出席した。

2006年にEPOによって創設され今回で14年目を迎える欧州発明者賞は、科学技術の進歩及び経済の成長等に貢献するとともに日常生活に影響を与えた発明者又は発明者チームの創造性等を表彰するものであり、「産業」、「研究」、「非 EPO 諸国」、「中小企業」及び「生涯功労」の5つの部門賞と、オンライン投票で一般の人々によって選ばれる「ポピュラー賞」とからなる。

本ニュースリリースによれば、EPO は、非 EPO 諸国部門の欧州発明者賞 2019 を日本（旭化成株式会社）の吉野 彰 氏に授与し、同氏について「日本の科学者である同氏は、リチウムイオン電池（LIB：lithium-ion battery）の父である。同氏の二次電池は、約 50 億の携帯電話、ノートパソコン及びその他の携帯機器並びに電気自動車に電力を供給している。同氏は、数十年にわたってリチウムイオン電池を継続的に改良することに専念してきた。」としている。

欧州発明者賞 2019 の全受賞者は以下のとおりである。

◆ 産業部門賞

- ・ 受賞者：Klaus Feichtinger 氏及び Manfred Hackl 氏（オーストリア）
- ・ 発明：高性能プラスチックリサイクル

◆ 研究部門賞

- ・ 受賞者：Jérôme Galon 氏（フランス）
- ・ 発明：より明確ながん検査「Immunoscore（登録商標）」

◆ 非 EPO 諸国部門賞

- ・ 受賞者：吉野 彰 氏（日本）
- ・ 発明：リチウムイオン電池及びその進化

◆ 中小企業部門賞

- ・ 受賞者：Rik Breur 氏（オランダ）
- ・ 発明：船舶防汚用繊維包装

◆ ポピュラー賞及び生涯功労部門賞

- ・ 受賞者：Margarita Salas Falgueras 氏（スペイン）
- ・ 発明：ゲノミクスのための DNA 増幅

なお、日本人の欧州発明者賞の受賞は、原昌宏氏・長屋隆之氏・渡部元秋氏・野尻忠雄氏・内山祐司氏のチームによるポピュラー賞（2014年、QRコード）の受賞、飯島澄男氏・小塩明氏・湯田坂雅子氏のチームによる非 EPO 諸国部門賞（2015年、カーボンナノチューブ）の受賞に続く、3回目となる。

－ 欧州特許庁のニュースリリースは、以下参照 －

[European Patent Office honours exceptional inventors from Austria, France, Japan, the Netherlands and Spain with European Inventor Award 2019](#)

－ 欧州発明者賞に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁、欧州発明者賞 2019 のファイナリストを公表（2019年5月7日）（PDF）](#)

（以上）